

各地の放射性物質検査状況 H24. 4. 22

都市名	セシウム134	セシウム137	ヨウ素130	基準（どの自治体も、測定結果は国の基準値以下でも公表）	検査方法		検査機		検査機関	産地の公表	
					回数等	検査の対象	種類	検出限界※1			
北海道札幌市	○	○	○	4Bq/kg	月2回（前日※2）	1都16県の2品目抽出※3	ゲルマニウム半導体検出器	4Bq/kg	民間の専門検査機関	公表（予定。野菜は半月分ごと）	
北海道倶知安町	ゲルマニウム半導体検査器購入を議会で報告済み。詳細未定。										
福島県いわき市	○	○	○	20Bq/kg	毎日（前日）	全食材。	テクノエーピー社製 TS150Bベクレルモニター	20Bq/kg	市（給食センター及び学校調理室）	公表（測定したものののみ）	
東京都小金井市	○	○	×	10Bq/kg	不定期 月に7日間	使用頻度が高かったもの	ヨウ化ナトリウムシンチレーションディテクタ	10Bq/kg	市民※4	公表（結果）	
茨城県つくば市	○	○	○	国の基準と同じ。	毎日（前日）	食材2品目＋給食丸ごと	日立アロカメディカル（株）	30Bq/kg	教育委員会	公表（予定）	
神奈川県横浜市	○	○	×	検出限界を上回った場合、それを食べる量などを考慮して、使用の可否を決める。	毎日（前日）	全食材	ゲルマニウム半導体検出器	3Bq/kg	日本海事検定協会、新日本検定協会、横浜市衛生研究所	公開（予定）	
千葉県袖ヶ浦市	○	○	○	20Bq/kg	平成24年3月まで、食材1種を選抜し外部委託（ゲルマニウム検出器）により検査していたが、4月からシンチレーションスペクトロメータ（限界値20Bq/Kg）を購入し、学校給食センターで前日検査開始。						公表（予定）
兵庫県神戸市	○	○	×	国の基準と同じ。	月2回（前日）※5	1都16県	ゲルマニウム半導体検出器	1Bq/kg（未満も可能）	神戸市環境保健研究所	公表（予定）	
大阪府大阪市	○	○	○	国の基準と同じ	「国などの情報より、放射性物質に汚染されている可能性のある品目」「過去に出荷制限などがかけられた品目」「過去に出荷制限や自産がかけられた産地の他の品目」について、給食に使用する前日		ゲルマニウム半導体検出器	10Bq/kg未満	株式会社 日本食品エコロジー研究所	公表（結果）	
福岡県福岡市	○	○	×	国の基準と同じ	月1回（前日）※6	1都16県	ゲルマニウム半導体検出器	10Bq/kg	財団法人食品環境検査協会	公表（予定）	

※1 検出限界は、機器の性能の他、検査物の性質や量、検査にかかる時間等の条件設定で変わる。

※2 前日とは、前日とそれより前に検査することを含む

※3 1都16県とは、東京都、青森県、秋田県、茨城県、岩手県、神奈川県、群馬県、埼玉県、静岡県、千葉県、栃木県、長野県、新潟県、福島県、宮城県、山形県、山梨県

※4 市が放射能測定器を購入し市民が中心となって設立した「小金井市放射能測定器運営連絡協議会」が市との協定のもとで、委託を受ける形。

※5 ①中央市場を経由している食材、月4検体程度（月2回抜き取り）。

②中央市場を経由していない食材（だし昆布・干しいたけ・こんにゃく・ゼリーなどを含む）、月1回1検体程度。

※6 使用頻度が高いものは 週1回程度